

シラバス			
教科名	外国語		学年
			1 学年
目 標	外国語でコミュニケーションを図る基礎的な能力や態度を育てるとともに、外国語や外国への関心を深める。 〔 教科の目標 〕 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 〔 知識及び機能 〕 (1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことにより実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。 〔 思考力、判断力、表現力等 〕 (1) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 〔 学びに向かう力、人間性等 〕 (1) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		
学年の目標	自己紹介や相手の様子を尋ねる、気持ちを伝えるなどの会話を通して、基礎的な技能を身につけてコミュニケーションで活用できる。 基礎的な be 動詞、一般動詞を使った普通文、疑問表現や否定表現の文を読み書きできる。		

月	時数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4 5 6	8	オリエンテーション	【知識及び技能】 ・ 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語の違いに気が付くことができる。 (外国の言語、英単語、文法など日本語との違い) ・ アルファベットの読み書きや正確に発音することができる。 ・ 日常生活の中にある身近な英語の単語を聞き、発音することができる。 ・ ローマ字の読み方、書き方について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 大文字、小文字を使い分けて短い文を書くことができる。 ・ 単語を聞きとったり読んだりすることや意味を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 自分のことや家族のことについて、ローマ字や簡単な単語を使って表現できる。	1 英語の特徴などに関する事項 (1) 日本語と外国語の違い ア 言語の違い (ア) 日本語と外国語 (イ) 日本語とそのルーツや関連している言語 (ウ) 発音、発声 (エ) 世界の言語 (こんにちはの表現の違いなど) (2) 表現方法の違い (ア) 日本語 (5 0 音) と英語 (2 6 音) について (イ) 大文字、小文字について (ウ) アルファベットの正しい書き方 (エ) 単語による表現 など (3) 数字、月、日時の表現 2 情報を整理しながら考えなどを整形し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (1) 日常で使われる英語表現 (ア) 自分の名前とローマ字表現 (イ) Good morning～. などの挨拶 (ウ) 日時に関するやりとり 例) What day is it today? (今日は何月何日ですか?) ⇒It' s August twenty-ninth. (8 月 29 日です。) (2) 相手に単文で気持ちを伝える表現について (ア) Thank you. I' m sorry. などの気持ちに関する表現 (イ) I' m fine. I' m angry. などの感情に関する表現 3 言語活動及び言語の働きに関する事項 (1) 書くこと ア 大文字、小文字の正しい書き方 (ア) 文字の大きさ、高さ (イ) 似た文字 (b, d や q, p) の正しい書き方と理解 イ 文字のマッチング (ア) 文字カードによる文字のマッチング (イ) やりとりした文字の大文字を小文字に変換 (2) 話すこと (やりとり、発表)、聞くこと、読むこと ア 文字やイラストのカードを活用した相手とのやりとり (ア) カードの示した内容と日本語表現の違い (イ) 発音や発声を意識した表現方法 (ウ) 相手の発音や発声を聞いて単語を聞き取る ※ALT による学習 正しい発音や発声、和製英語と正しい英語表現など外国語と日本語の表現の違いに着目した学習内容を計画する 〔国語：音読〕〔数学：時計、暦〕〔理科：気象の変化〕	【知識・技能】 1 段階：アルファベットや単語の発音、文字や表現方法などを通じて日本語と外国語の違いを理解することができる。 2 段階：日常で使われる日本語と外国語の表現の違いを理解し、正しく発声することができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：アルファベットカードを活用し、正しく言葉や文字で表現することができる。 2 段階：単語カードのやりとりを通じて、日本語と外国語の表現の違いを理解しながら、読んだり、書いたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：外国語の言語や表現方法について理解し、相手(目の前の相手)と主体的に外国語を用いてコミュニケーションをとることができる。 2 段階：日常で使用される表現方法を理解し、他者(ALT)と主体的に外国語を用いてコミュニケーションを取ることができる。 評価方法： プリント課題(提出)、出席、授業参加状況、取り組みの様子(姿勢)
		日本語と外国語の違い			
		日常で使われる英語表現			
6 7	4	日本と外国の違い	【知識及び技能】 ・ 日本と外国の文化や、言語、生活習慣の違いを知ることができる。	1 英語の特徴などに関する事項 (1) 日本と外国の文化、生活習慣の違い ※日本の文化と外国の文化を並べて記載し、違いを明確にする。	【知識・技能】 1 段階：日本と外国の文化や言語、生活習慣を比較して違いを知ることができる。 2 段階：日本と外国のそれぞれの良さや魅力を比較した内容からまとめることができる。

			【思考力、判断力、表現力等】・相手と調べた国の内容について、比較したり、違いを確認したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】・自分の調べた国と相手が調べた国の文化言語、生活習慣の違いから、様々な国に興味・関心を深めることができる。	ア 「いただきます」「ごちそうさまでした」という食事の時の文化や皿を持って食べるなど日本特有の食事のマナー イ 入浴の回数やシャワーの利用 ウ チップ制度とおもてなし エ コミュニケーションに関する伝え方の違い（伝えた言葉と実際の行動の違い（どちらも捉えることのできる日本語の表現のあいまいさ）） オ 子どもの頭をなでる（東南アジアでは失礼に当たる）など （2）言語の違い ア 国によって言語が違うこと（日本語は日本のみで話されている主言語であること） イ 国によっては、同じ外国語が主言語であること ウ 挨拶など身近な言葉から、言語の違いを確認する 2 情報を整理しながら考えなどを整形し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 （1）調べた情報を整理しまとめる（世界地図、iPad などの活用） ア それぞれがまとめる国を指定する（アジア圏、アフリカなど大陸別に行く） イ 国の名前、国旗、言語、文化について調べる（検索ワード：（国名） 文化など） ウ 調べた内容を日本語で指定の様式に合わせて日本語でプリントにまとめる （2）身近で簡単な事柄について簡単な語彙などが表す事柄を想像したり、書いたりすること ア 「こんにちは」など、身近な挨拶を国の言語に合わせて文字と発声で紹介できるようまとめる イ 相手が調べた言語に基づいた挨拶の表現や書き方を見たり、聞いたりしながら表現する 3 言語活動及び言語の働きに関する事項 ア 書くこと （1）指定の様式に合わせて調べたことを日本語でまとめる （2）言語に合わせて iPad などで書き方を見ながら多言語を書く （3）相手が調べた言語について、見本を見ながら書く イ 話すこと（やりとり、発表） （1）調べた内容について相手（目の前の相手）とやりとりを行う （2）やりとりを行ったことを日本語でまとめたり、多言語の挨拶についてカタカナや他言語の表記で記入したりする ウ 聞くこと、読むこと （1）相手が調べた内容を聞いて国名、挨拶の表現について聞き取る （2）自分が調べた内容を相手に伝わりやすいように正しく発声を行う ※ALT による学習 上記の学習した内容から、調べた内容に合わせて ALT とやりとりを行う。また、ALT の母国に関する文化、言語、挨拶について、外国語から聞き取り、多言語に触れたり、文化の違いを確認したりする学習を学習内容とする。 〔国語：作文〕〔社会：文化〕	【思考・判断・表現】 1 段階：調べた内容を相手に伝えたり、相手の内容を聞いて文化や生活習慣の違いを確認することができる。 2 段階：外国の暮らしや生活習慣などから、日本との違いをカテゴリー別に分けてまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：外国語の背景にある文化について理解し、相手（目の前の相手）に調べた内容を主体的に伝えることができる。 2 段階：外国語の背景にある文化について理解し、他者（ALT）に調べた内容を主体的に伝えることができる。 評価方法 プリント課題（提出）、出席、授業参加状況、取り組みの様子（姿勢）
8 9 10	11	自分の気持ちや状況を伝えよう 一般動詞	【知識及び技能】・自分の気持ちを表現する単語や表現方法を知ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】・日本語と外国語の表現の仕方や伝え方の違いを判断し、相手に伝わりやすい表現を考えて取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】・相手や他者に対して、主体的に気持ちを表現したり、相手の表現を聞き取ることができる。	1 英語の特徴などに関する事項 (1) 気持ちの表現について ア オリエンテーションで行った表現方法の振り返り （ア） 名前 （イ） 日時や曜日 （ウ） 簡単な自分の気持ち（感情を伝える） （エ） 学習のはじめ、終わりの挨拶 など イ 副詞を用いた自分の気持ちの伝え方 （ア） 少し、ちょっとと言った抽象的表現の組み合わせ （イ） 曇りのち晴れ、曇りのち雨といった合わせた表現 など ウ 自分の持ち物や好きな物を伝える （ア） I like ○○. を使い、好きな物を紹介する （イ） This is ○○. That is ○○など事実や物事を伝える など	【知識・技能】 1 段階：自分の名前や好きなことを単語や単文で伝えることができる。 2 段階：単文や文法の構成を選択し、英語で物事の内容を表したり、用件を伝えたりすることができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：自分の気持ちを単語や単文で伝えたり、相手の気持ちを単語で聞きとったりすることができる。 2 段階：抽象的な表現方法などを交えながら、相手とやりとりをするために必要な表現方法を考え、伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：自分の気持ちについて、主体的に相手（目の前の相手）にまとめた内容を伝えることができる。 2 段階：自分の気持ちについて、主体的に他者（ALT）にまとめた内容を伝えたり、相手のまとめた内容を聞き取ったりすることができる。

				2 情報を整理しながら考えなどを整形し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (1) 知識・技能で身に付けた力を活用したやりとり ア 質問に対する返答 例) What sport do you like? ⇒I like baseball. などといった質問に対する返答 イ 興味・関心の深いことを紹介する 例) This is my favorite food. (上記 I like ○○と組み合わせで表現) ウ 考えや意図を伝える 例) It is exciting. I’ m very happy. (物事にあわせた感情表現を交えて伝える)	評価方法 プリント課題(提出)、出席、授業参加状況、取り組みの様子(姿勢)
				3 言語活動及び言語の働きに関する事項 (1) 書くこと ア 文例から表現方法を選択し、日本語で伝える内容をまとめる イ まとめた内容に合わせて文法を選んだり、単語を当てはめたりしながら表現する (2) 話すこと (やりとり、発表) ア 書いてまとめた内容に対し、正しい発音や発声、単語の書き方を確認しながら相手とやりとりができるよう繰り返し練習する イ 相手(目の前の相手)に、自分の気持ちを表現する ウ 相手の気持ちをやりとりから読み取り、単語でまとめる (3)聞くこと、読むこと ア 相手が聞き取りやすいように、はっきりとした発音、発声ができるよう練習する イ カタカナで文章にルビをふり、単文を読んで表現する ウ 相手とのやりとりで、聞き取る部分を指定し、カタカナでメモをする。 エ 表現方法をまとめた一覧表から、相手の気持ちを探し、気持ちを読み取る	
				※ALTによる学習 上記の学習した内容から、ALTと自分の好きなことや気持ち等を外国語で表現し、他者の気持ちを読み取ったり、自分の気持ちを他者に伝えたりする学習を計画する。	
				[国語：作文][社会：文化]	
11 12 1	8	自分の長所や短所	【知識及び技能】 ・自分の長所や短所について、外国語を用いて表現する手段や方法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常生活や学校生活などから、自分の長所や短所についてまとめ、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・発声や発音を意識して気持ちを伝えたり、考えたことを外国語で書いたりしながら、主体的にコミュニケーションを図ることができる。	1 英語の特徴などに関する事項 (1) 自分の長所と短所について ア 表現のまとめ方 (ア) 日常生活や学校生活について振り返る(できること、できないことについて整理する) (イ) まとめた内容を用いて can を用いた単語と単文に例を見ながら書く。 例) I can speak Japanese. (私は日本語を話すことができます。) →I can’ t speak English. (私は英語を話すことができません。) ※対義語、類義語、反対語など国語で表す表現に関しても同内容でふれる。 イ 強調した表現の表し方 (ア) 前単元内容(抽象的な考え方)にあわせ、very、more などを用いてより表現を豊かに伝える 例) I can work very carefully. (私はとても慎重に取り組むことができます。)	【知識・技能】 1 段階：自分の長所や短所について、文例に単語をあてはめながら記入することができる。 2 段階：自分の長所や短所、将来について i Pad で正しい書き方や発音を確認しながらまとめることができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：相手(目の前の相手)に対し、まとめた内容を用いてやり取りを行うことができる。 2 段階：他者(ALT)に対し、まとめた内容を用いて表現したり、質問したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：発声や発音を意識し、主体的に相手(目の前の相手)にまとめた内容を伝えることができる。 2 段階：発声や発音を意識し、主体的に他者(ALT)にまとめた内容を伝えたり、相手のまとめた内容を聞き取ったりすることができる。
				2 情報を整理しながら考えなどを整形し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (1) 質問に対する返答 例) What is your strong and weak points? (あなたの長所と短所は何ですか?) など (2)私は○○になりたいですという将来の希望を伝える表現 例) I want to be an auto mechanic in the future. (私は将来自動車整備士になりたいです。) など	評価方法 プリント課題(提出)、出席、授業参加状況、取り組みの様子(姿勢)
				3 言語活動及び言語の働きに関する事項 (1) 書くこと (iPad の Siri などを活用した単語表記、確認) ア 自分の長所や短所について、指定のプリントに日本語で整理する イ 長所や短所の表現に沿った英文の例にあてはめながら記入する(単語は iPad の Siri などを使い、正しい表記を確認する) (2) 話すこと (やりとり、発表)	

				ア 外国語で表現した内容を用いて、相手（目の前の相手）とやり取りをする。（外国語で伝えた後、お互いに何を伝えたのか日本語で伝えあいながらお互いの長所や短所を聞き取る） イ 相手の将来の希望について聞き取った単語を、Siri を用いて確認する（単語の意味、発音） (3) 聞くこと、読むこと ア 相手が聞き取りやすいように、はっきりとした発音、発声ができるよう練習する イ カタカナで文章にルビをふり、単文を読んで表現する ウ 相手とのやりとりで、聞き取る部分を指定し、カタカナでメモをする エ iPad のSiri などを活用し、聞き取った単語の書き方と発音を確認する ※ALT による学習 上記の学習した内容から、ALT と面接形式で長所と短所に関する質問をしたり、将来の希望について発表したりすることを学習の内容とする。他国の面接形式や質問の内容、社会の仕組みなどについても本単元でふれる。 〔国語：作文、履歴書〕〔職業：社会生活、自己理解〕 〔情報：iPad の使い方、Siri などの活用〕	
2 3	4	一年間のまとめ	【知識及び技能】 ・今まで学習してきた内容を振り返り、単語や短文を用いて表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・今まで学んだ表現方法を活用し、内容を考えたり、相手に伝わりやすい表現にまとめたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・相手や他者に対し、やり取りを行いながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションをとることができる。	1 英語の特徴などに関する事項 (1) 1 年間の学習の振り返り ア 自分のこと（名前、年齢、性別など） イ 挨拶に関する表現（Hello、Hi など） ウ 自分の住んでいるところ、家族構成など エ 好きなことに関する表現 オ 長所と短所 カ 将来について 2 情報を整理しながら考えなどを整形し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ア 日本語で上記の振り返り内容を指定のプリントにまとめる イ 日本語でまとめた内容に対し、今まで学習したプリントや例文などを見ながら、正しく英語で短文や単語を表現する 3 言語活動及び言語の働きに関する事項 (1) 書くこと（iPad のSiri などを活用した単語表記、確認） ア 上記 1 年間の振り返りに関する内容について、学校生活や日常生活に関する事項を日本語や英語を用いてまとめる。 イ 単語の正しい書き方を学習する際、Siri などを用いて iPad に表示し、記入する。 (2) 話すこと（やりとり、発表）、聞くこと ア 外国語で表現した内容を用いて、相手（目の前の相手）とやり取りをする イ 相手の発表を聞いて、伝えようとしている内容を単語でメモを取りながら聞き取る ウ 聞き取った内容を iPad など調べながら相手が伝えたいことを理解すること (3) 読むこと ア 相手が聞き取りやすいように、はっきりとした発音、発声ができるよう練習する イ カタカナで文章にルビをふり、単文を読んで表現する ウ 相手とのやりとりで、聞き取る部分を指定し、カタカナでメモをする エ iPad のSiri などを活用し、聞き取った単語の書き方と発音を確認する ※ALT による学習 1 年間の学習について、ALT がまとめた内容について質問を行い、言語の使用場面や働きを意識しながら表現することを学習内容とする。 〔国語：作文、履歴書〕〔職業：社会生活、自己理解〕 〔情報：iPad の使い方、Siri などの活用〕	【知識・技能】 1 段階：1 年間で学習した内容を振り返り、様々な表現方法を学んだことを活用して表現できる。 2 段階：1 年間学習してきたことを振り返り、使用場面や言語の働きを意識しながら表現することができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：正しい発音や発声を意識しながら、まとめた内容を発表することができる。 2 段階：表現の順番や伝え方などを自分で考えて、短文を組み合わせた発表ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：発声や発音を意識し、主体的に相手（目の前の相手）にまとめた内容を伝えることができる。 2 段階：発声や発音を意識し、主体的に他者（ALT）にまとめた内容を伝えたり、相手のまとめた内容を聞き取ったりすることができる。 評価方法 プリント課題（提出）、出席、授業参加状況、取り組みの様子（姿勢）